京都大学が水田放牧を視察

長門農林事務所畜産部
平成21年2月3日

京都大学農学部の生物資源経済学専攻で学ぶ学生５名と指導教官２名が、１月３１日に長門市油谷向津具の水田放牧を実践している３農家を視察しました。

視察は、専攻実習の一貫として全国の先進農家と直接交流することで農業情勢を肌で感じさせることを目的に実施しているものです。

学生は、学部２年生で農業の実体験が少なく、初めは放牧の様子や農家の「家畜への情熱や愛情」を聞き、驚いた様子でしたが、終わりには真剣に将来の農業を考えて発言していました。

農林事務所は、地域農業の振興に結びつくこのような活動を今後とも支援していきます。

水岬放牧場

川嶋放牧場